

# 立教開宗七百記念

近刊

日下無倫先生延譯并解説

阪東眞本  
**教行信證**

菊判約五百頁  
コロタイプ寫眞  
二十一葉  
正價金五圓  
送料金拾八錢

「教行信證」は親鸞聖人立教開宗の本典にして、それが信仰の結晶、思想の全面を如實に吐露せられたるものなり。然れどももと漢文にして、殊に聖人獨自の筆格により叙述せられたるものなれば、古來専門學徒も猶容易に讀過し難しとしたる所、到底今日常人の讀書眼に入るべきものにあらず。現時親鸞熱勃興して我邦思想界を風靡しつつあるも、如上の意味に於て能く「教行信證」に接するもの殆どあるなく、ために聖人の思想信仰の全豹を窺知する能はずして、徒らにこれを謬まり傳ふるの風あり。編者深くこれがために慨し、それが多年古文書研究の力を傾竭し、苦心焦慮の結果、かの親鸞聖人親蹟の草本として名高き東京坂東報恩寺所傳の『教行信證』につき、その一字一句も忽緒にするなく、全文を改めて讀み易き假名交り文に轉換せしめたるもの、實に本書也。然れば本書は從來流布せられたる杜撰なる延書本にあらず、また近時流行の現代語譯にあらず、最も純粹に偽りなき親鸞聖人の思想信仰を知るべき絶好の權威的良書たり。頃日大谷派本願寺、坂東眞本複寫出版の舉あり。これを讀まむとするもの、ために本書はそれが最適の指針となる。若し夫れ聖人の生命宗教に直參せむとするの徒なる限り、須らく本書を繙いて、その眞諦に觸れよ。敢て薦む。

店書屋子丁

町屋敷珠下市都京  
番〇九二〇一替振

所行發

京都帝國大學  
大谷大學教授

寺本婉雅譯補

# 近世 西藏文 世親造 唯識 論

四六判參百頁  
定價 未定  
送料 未定

現代の動亂極りなき思想界に對し、輕躁と健忘症を長所とする我國民は盲目的に外來思想を追隨し、昨是今非、改造、改革の語を哢して我民族性の史的生成を忘れ、無批判的實利主義に陥り、民族危滅の秋に瀕す。本書は斯る無信の思潮を摧破し、既に泰西に於て行詰れるカント。ヘーゲル。ベルグソン。ゼームス等哲學の缺陷を警覺せしめ、人類永遠の最高批判の原理を示した。是れ實に東洋思想の核心であり、世界指導の思想燈である。原著者世親は千數百年來、日本民族の根柢を培養し日本文化を開發せしめし靈祖である。譯者は原著者の唯識論に關する總てを網羅し、藏漢和對譯し、卷末に原文を附し、兼て「行の哲學十二因緣論」を添加した。

龍谷大學  
講師

文學士 野々村直太郎著

## 再版 宗教學要論

菊判四百五十頁  
總定價 四圓五拾錢  
定稅貳拾五錢

本書の公にせらるゝに臨み、其披露の辭を親しく著者に望まる。著者快く應じて云く、本書の研究は、著者が自家の宿題を自家に於て解決せし一私事に過ぎず。而かもたま／＼世界が之によりて始めて獨立の宗教學を得、從つて學界之が爲に茲に重要な一新科學を添へ得たりとせば、豈に一私事の故を以て必ずしも之を私せんや。思想の混亂は現代の如くにして、宗教の真相は正に本書の説破するところの如し。出版の舉たる、決して無意義ならざるなり矣。

社會式株版出外内

（振替口座）  
（大阪）  
（番五五八貳參）

南條七院洞西市都京

元兌發

京都帝大講師  
大谷大學教授

寺本婉雅著

# 新刊 西藏語文法

菊判貳百餘頁
クロース美裝
定價參圓五拾錢
郵稅拾貳錢

歐洲戰後思想動亂の結果、その思想統一を東洋佛教に求め、梵語梵梨語の原典が盛に研究せられてゐる。而かも梵巴兩語原典のみにては大乗的思想史研鑽には未だ不充分なるに氣附かしめられた。今此不備こそその思想に新光明を投ずるものは西藏語譯の原典である。そして夫が哲學・宗教・醫學・天文・植物等東洋百科全書として、世界の學界の前に提供せられてゐる。本書は實にその寶庫を開くべき鍵鑰として出現したのである。西藏探檢者、西藏學研究の第一人者たる著者は時代の要求に應じて幾多の苦辛と萬難を排してこの創業を企てたのである。猶卷末に馬鳴が迦膩迦王二世に送れる書翰文を藏和對譯して載せ、是れに依て迦王二人說諍論解決の新史料に供してゐる。藏文活字の著書は我學界最初の試みであつて、又此種の刊行は當出版會社の誇譽とするところである。

社會式株版出外内 (版大座日替振 番五五九貳參)

區京下市都京  
南條七院洞西

元兌發